

2026年8月14日

報道機関 ご担当者 各位

河合塾グループ

学校法人 河合塾学園

催事案内希望

今、注目の国際カリキュラムの新しい選択肢「ミネルバ・バカロレア」高校課程とは？ ～来春開校「ドルトン X 学園高等学校」開校記念特別セミナー（8/29 会場+オンライン開催）～

河合塾グループが来春に開校予定*の通信制高校『ドルトンX学園高等学校』は、8月29日（土）に特別セミナー『国際カリキュラムの新しい選択肢 地域探究で育むグローバル人材 ミネルバ・バカロレア高校課程』を会場（千代田区・大手門タワー）とオンラインのハイブリッドで開催します。同校が導入する高校向けカリキュラム、ミネルバ・バカロレア高校課程(MBacc)をテーマに、北海道大学教育イノベーション機構の田中孝平先生とミネルバ大学の卒業生をお迎えし、世界が注目するMBaccの本質と、日本の高校教育の新たな可能性について考えます。

* 岩手県に認可申請中（本部：岩手県一関市）

■ ミネルバ流の学びが切り開く、高校教育の新たな地平

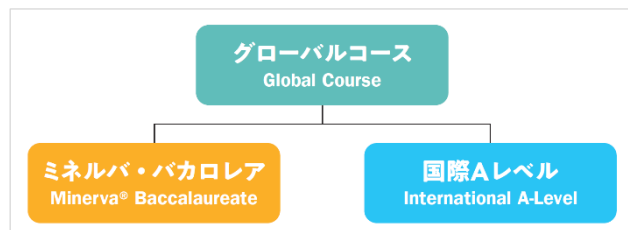
ドルトンX学園高校は、「通信制×全寮制×地域滞在型の探究学習×海外大学進学」を実践する日本初の高等学校*¹です。同校は、探究的な学びをさらに発展させる選択肢としてグローバルコースを設置。英語による学習プログラムとして「ミネルバ・バカロレア（MBacc）」と「国際Aレベル」の2プログラムを導入します*²。

* 1 当校調べ（2026年8月現在） * 2 詳細は別紙参照

今回のセミナーは、この2プログラムから「ミネルバ・バカロレア（MBacc）」にフォーカス。ミネルバ・プロジェクトが2020年より導入を始めたMBaccは、世界の主要大学や企業が重視する汎用的な力（トランスファラブル・コンピテンシー）の育成を目的としています。英語での授業はもちろん、教科横断型の学際的な学びを通して、知識を実践へと結びつける力を養う内容です。

セミナーには北海道大学で大学教育論を研究し『ミネルバ大学を解剖する』の共著者である田中孝平先生とミネルバ大学の卒業生をお招きします。ミネルバ大学が実践する教育の狙いや本質を解説するとともに、MBaccの内容や魅力を紹介。日本の高校教育の新たな可能性について、ドルトンX学園スタッフならびに参加者の皆様と考えます。

日本の若者がこれからの世界で活躍するにはどのような学びが求められるのか、国際的な教育カリキュラムとして今もっともホットなMBaccを通じて考える貴重な機会です。ぜひ貴媒体にてご紹介ください。ご取材も歓迎します。



ドルトン X 学園高等学校 グローバルコース構成図



■ 特別セミナー『国際カリキュラムの新しい選択肢 地域探究で育むグローバル人材 ミネルバ・バカロレア高校課程』概要

- 日時 : 8月29日（土）14：30～16：30
- 形式・会場 : リアル会場とオンライン配信のハイブリッド実施
会場 : 3×3 Lab Future
(千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル1階)



MINERVA®
BACCALAUREATE

- 対象 : 中学生と保護者、高校生・大学生・学校関係者ならびに一般の皆様
- 登壇者 : 田中孝平氏（北海道大学教育イノベーション機構 教育推進研究部 講師）
Alison Tanker氏（ミネルバ・バカロレア国際プログラム マネージング・ディレクター）
ミネルバ大学卒業生
古屋輝周（ドルトンX学園開校準備室長・校長予定者）
三浦直美ジョイ（ドルトンX学園高等学校国際カリキュラム担当）
- 内容 : ・MBaccの概要紹介（三浦直美ジョイ）
・Alison氏からのビデオメッセージ
・田中孝平氏×古屋輝周のディスカッション
「MBaccで学ぶメリット／グローバルに活躍するために必要な経験」
・ミネルバ大学卒業生を交えたディスカッション
「ミネルバ大学での経験をどのように生かしているか」
- 詳細・申込方法 : 8月27日（木）までにWebからお申し込みください
www.kawai-juku.ac.jp/r/daltonx_event/

【登壇者プロフィール】

田中 孝平氏 北海道大学教育イノベーション機構 教育推進研究部 講師

2024年3月 京都大学大学院教育学研究科教育学環専攻（高等教育学コース）を修了し、博士号（教育学）を取得。北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部助教を経て、2026年4月より北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部講師。研究テーマは、「高校の探究学習を通じた高大接続に関する研究」や「高校から大学への移行に関する研究」など。研究を通じて、高校から大学への移行の様相を的確に把握するとともに、学生の学びと成長を促す高大接続モデルを構築することをめざしている。主要著作として、『対話型論証ですすめる探究ワーク』（勁草書房、2022年、共著）、「目標とカリキュラム」（松下佳代編『ミネルバ大学を解剖する』東信堂、2024年、pp.37-71）など。

Alison Tanker（アリソン・テインカー）氏 ミネルバ・バカロレア国際プログラム マネージング・ディレクター

国際教育・教育イノベーションの分野で約20年の経験を持ち、体験型・プロジェクト型学習の普及に幅広く携わる。Hawken SchoolやKorda Institute for Teachingにて、世界33か国の教育者と教育プログラムの展開に取り組む。現在はMinerva Baccalaureateにて、学際的なカリキュラムと評価モデルのグローバル展開を担当。

古屋 輝周 ドルトンX学園高等学校 開校準備室長・校長予定者

東京大学経済学部を卒業後、米国ミシガン大学公共政策大学院で修士号を取得。アクセンチュアやリクルート、Twitter(当時。現在X)、Amazonといった国内外の企業でマーケティングや新規事業開発、アジア太平洋事業の責任者などを歴任。2023年より河合塾グループへ転職。現在、2027年4月開校予定のドルトンX学園高等学校開校準備室室長、河合塾グループのKJホールディングス執行役員。ドルトンX学園高等学校校長に就任（予定）。

三浦直美ジョイ ドルトンX学園高等学校 国際カリキュラム担当

日本国内の国際教育分野で約20年の経験を持ち、学校運営、国際カリキュラム、海外大学進学支援、体験型教育に幅広く携わる。ミネルバ大学では東京拠点の立ち上げに携わり、体験型学習プログラムを担当。現在はドルトンX学園高等学校のグローバル教育の設計・導入を担当。

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

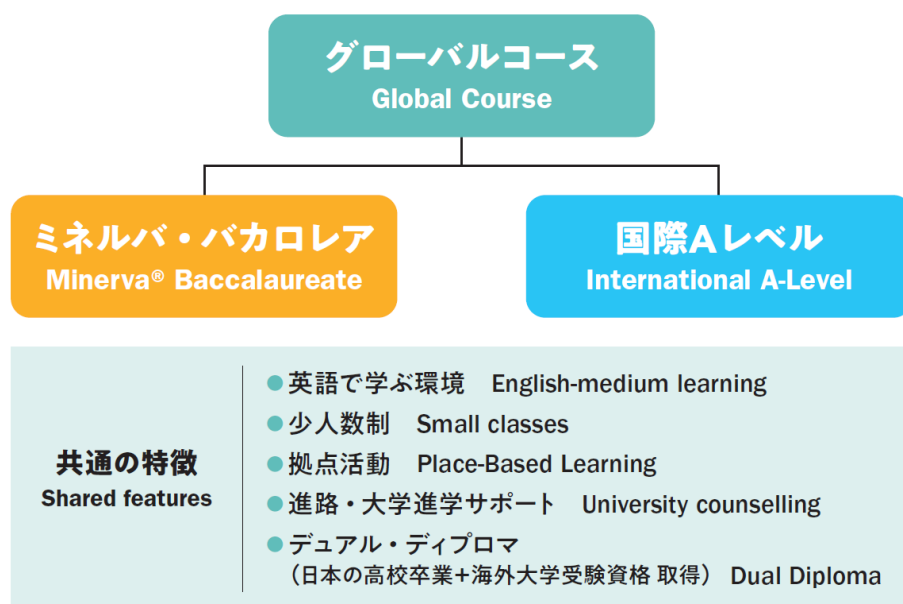
河合塾グループ広報センター 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）

【別紙】

「一人ひとりの興味や進路に応じて選べる、2つの国際教育プログラム」

ドルトン X 学園高等学校のグローバルコースでは、「ミネルバ・バカロレア (Minerva Baccalaureate)」と「国際 A レベル (International A-Level)」という、教育アプローチの異なる 2 つの国際教育プログラムを導入します。生徒の興味・関心や得意分野、将来めざす進路は一人ひとり異なります。そこで本校では、「分野を超えて活用できる汎用的な力」を育てる学びと、自ら選んだ専門分野を深く追究し「高度な知識と学力」を身につける学びの双方を用意しました。生徒自身が、自分の学び方や将来の目標に合ったプログラムを選択し、国内外の大学進学やその先のキャリアにつなげていきます。



■ ミネルバ・バカロレア

(Minerva Baccalaureate)

米国サンフランシスコに本部を置くミネルバ大学の教育モデルをもとに、ミネルバ・プロジェクトが開発した学際的な高校カリキュラムです。言語芸術、社会科学、数学、自然科学を横断する学際的な学びや、対話・探究・協働を中心とした授業を通して、批判的思考力、コミュニケーション力、創造力、課題解決力など、分野を超えて活用できる力を育成します。知識を身につけるだけでなく、それを実社会の課題や新しい状況で活用することを重視するプログラムです。

ミネルバ・バカロレア Minerva Baccalaureate
教科横断型の学び Broad interdisciplinary Learning
継続的な評価 Continuous assessment
対話・ディスカッション中心 Discussion-based
スキルを重視 Skills-first
米国カリキュラム U.S. curriculum
ミネルバ・バカロレア ディプロマ取得 Minerva Baccalaureate Diploma

■ 国際 A レベル

(International A-Level)

英国で生まれ、世界各国の大学で広く認められている大学進学準備課程です。生徒は自分の興味や将来の進路に応じて科目を選択し、それぞれの分野を専門的に深く学びます。ドルトン X 学園では、1 年次に基礎課程を設け、2 年次以降は国際 A レベルプログラムへ進学します。3 科目を選択して専門的な学びを深め、International Advanced Level (IAL) 資格の取得をめざします。海外大学をはじめ、世界につながる進路を切り拓くための高度な学力と自律的な学習力を育成します。

国際Aレベル International A-Level
専門分野に特化した学び Subject specialization
外部試験による評価 External examinations
資格試験重視 Exam-focused
専門知識を重視 Academic depth
英国カリキュラム UK curriculum
国際Aレベル資格取得 International A-Level Qualification